

2022年10月27日

各位

会社名 株式会社ドラフト
 代表者名 代表取締役 山下 泰樹
 (コード番号 5070 東証グロース)
 問合せ先 上級執行役員 熊川 久貴
 (TEL 03-5412-1001)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2022年2月14日に公表いたしました2022年12月期通期(2022年1月1日~2022年12月31日)の連結業績予想について、下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正について

2022年12月期通期業績予想(2022年1月1日~2022年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 10,000	百万円 960	百万円 950	百万円 600	円 銭 59.78
今回修正予想(B)	8,340	123	113	26	2.58
増減額(B-A)	△1,660	△837	△837	△574	
増減率(%)	△16.6	△87.1	△88.1	△95.6	
ご参考；前年実績 (2021年12月期)	8,032	955	947	574	61.97

2. 修正の理由

当社グループでは売上高の見通しを、プロジェクトストックの積み上がり、週平均引き合い額の動向、獲得率(引き合い案件のうち、実際に受注に至る案件の金額割合)の状況により判断しております。

オフィスを中心としたインテリアデザイン、建築デザインへの需要は引き続き堅調であり、当社グ

ループの週平均引合い額はほぼ計画通りに推移しておりますが、獲得率が当初想定 of 70%に及ばず 60%台にとどまる見通しです。また第 3 四半期以降に獲得した案件も来期以降のものが中心となっていることに加えて、売上計上予定時期が来期にずれ込む期ずれ案件も発生しております。これらの要因により、第 4 四半期に売上計上予定の案件を加えても当初の売上高の予想には達しないことが明確となったため、売上高の業績予想を下方修正いたします。

なお、本年 10 月 25 日時点において、新たに獲得した案件、期ずれ案件など含めて、2023 年 12 月期に売上計上予定のプロジェクトストックは約 4,200 百万円であり、これは前年同時期と比べて 8%増となります。また、獲得率の低下を踏まえてプロジェクトストックに加える際の受注見込みの程度の精査を徹底しており、より確度の高いものとして算出しております。

前述の通り引き合いは順調であることから、来期期初時点のプロジェクトストック確保の進捗には問題がないと考えております。

売上高見通しが予想を下回ることに加え、全体として売上総利益率が若干低下するものと見込んでおります。加えて、第 2 四半期決算短信他で計画についてお知らせしました東京地区オフィスの集約・移転については、当連結会計期間中に完了する可能性が高くなりました。当社グループのオフィスは、単なる執務スペースではなく、新しいデザインをクライアントに体感していただくショールームを兼ねており、当社グループのブランディングの場となります。このため、自社オフィスの構築にはある程度の資金投下を行う計画であり、二重家賃・運送費・廃棄費用等業績予想に織り込んでいない費用計上額は販売費及び一般管理費で約 130 百万円、特別損失で約 70 百万円を見込んでおります。これらを踏まえ、営業利益以下の各利益についても下方修正を行います。

なお、期末配当については修正は行わない予定です。

(注) 上記に記載した業績予想数値等は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。従って、実際の業績等は業況の変化等により、上記の予想数値と異なる可能性があります。

以 上